

平成25年春の叙勲 受章者紹介

平成25年春の叙勲受章者が4月29日に発表されました。氷川町からは、浜田洋さん(西網道)が旭日双光章、遠山和美さん(笹尾)が瑞宝双光章を受章されました。お二人についてご紹介いたします。

旭日双光章

浜田 洋さん(西網道)

平成8年に竜北町長に初当選、3期9年にわたり在職され、対話と協調を基本に町政の円滑な運営に尽力されました。

活力ある産業の振興、教育・文化の拡充、安全で快適な生活環境の整備、幸せが実感できる福祉のまちづくり、行財政運営の効率化を重点政策として町政運営。そして、竜北町宮原町の二町合併後の平成17年には、初代氷川町長に当選され、積極的に行財政改革を推進し、急激に変動する社会に的確に即応するため、新時代の地方自治にふさわしい行政体制を整備されました。

また、総合振興計画の策定においては町民との話し合いを深め、町民総意による協働型社会の実現に尽力されるなど平成21年11月までの1期4



▲蒲島知事より叙勲の伝達を受けられる浜田洋さん

年を含め、通算13年の長きにわたって、町の発展に多大な貢献をされました。受章に際し、浜田さんは「町民の皆さまと一緒にまちづくりを進めてきた結果が受章につながったと思います。今後は、受章に恥じないようさらに、地域づくりに力がかかわっていきたいと思います。」と話されました。

瑞宝双光章

遠山 和美さん(笹尾)

教員として、県内の複数の中学校にサッカー部を創部され、サッカーの普及に努められました。また、サッカー部の監督としても、大津高校、ルーテル学院中の在任時にそれぞれ、県大会優勝、2年連続全国制覇の実績を残されました。

現在は、県サッカー協会の副会長を務められており、1000人以上の選手やコーチの育成に取り組まれる傍ら、60歳以上で構成されるサッカーチームで、現役の選手としても活躍されています。

指導法は「ほめて伸ばす」ことを心がけ、基本を大切に、「恐怖心からは何も生まれないうい」、指導者は選手に「良いきっかけ」をつくるのが大事だと話されます。

サッカーを始められたのは高校からで、当時は県内に8



▲叙勲を受け、喜びの表情を見せられる遠山和美さん

叙勲とは 叙勲は国や社会へ功績を上げた人が、国家から勲章を授かる栄典(表彰制度)の一つです。毎年、春と秋に授与されます。

旭日双光章

顕著な功績を上げた人に授与される旭日章の一つです。



瑞宝双光章

公共的業務に長年従事された人に授与される瑞宝章の一つです。



新嘗祭(献穀事業)

皇室行事の新嘗祭は、毎年11月23日に天皇陛下が新穀を神々に供えられ、ご自身も食される収穫と感謝の御祭りです。

この御祭りに供する米と粟は全国の都道府県の農家から奉献されるもので、平成25年度で121回を数える歴史的、伝統的な行事です。平成25年度は熊本県における献穀の地として、氷川町が選ばれました。

献穀事業の趣旨と経緯

五穀豊穣を祈り、収穫を感謝する神事のほか、民族芸能や文化財の保護育成や農業の大切さを広く認識してもらう役割を果たしています。

献穀事業は、明治25年に当時の富田東京府知事以下全国の知事らの連署をもって新嘗祭のお供えを各県より奉納させていたきたいとの請願を宮内大臣に出され、許可されたのが始まりとされています。

献穀事業に伴う主要行事

- ◆清祓祭・播種祭 5月11日(土) 献穀田
- ◆御田植祭 6月15日(日) 献穀田
- ◆抜穂祭 10月7日(月) 献穀田
- ◆奉告祭 10月9日(水) 宮原三神宮
- ◆献穀献納式 10月中旬以降 皇居

清祓祭・播種祭

5月11日、献穀田において、神事である清祓祭および播種祭が行われ、地区住民や関係者ら約50人が参列しました。初めに、献穀田を清めるための神事、斉田清祓の儀が行われ、関係者と献穀田に対して、神職がお祓いを行いました。



▲斉田清祓の儀

その後、藤本町長、加末誠一

JAやつしろ代表理事組合長、木野武盛さん夫妻による鋤入れの儀、斉田に種をまく、播種の儀が行われ、最後に関係者は玉ぐしを捧げました。



▲鋤入れの儀



▲播種の儀

献穀米・粟栽培者 木野武盛・久子さん夫妻(追)

熊本県代表として、11月に行われる新嘗祭で、天皇陛下が神々に供えられる米と粟を栽培し、献上されます。

木野さんは「新嘗祭に供する米と粟を献納する熊本県代表として、私たちをご推薦いただき、身に余る光栄であるとともに身の引き締まる思いであります。これから私たちは献穀米栽培者として、実りの秋へ向かい、私たちが持つております、すべてを注ぎ、丹精を込め、多くの皆さま方の協力を得ながら、熊本県の代表として、立派に献上できますよう取り組む所存でございます。」と挨拶を述べられました。



▲木野さん夫妻

御田植祭が行われます

6月15日に献穀米の豊作を祈って、田植えの神事である「御田植祭」が行われます。

竜北中学校の生徒がおけさ笠かすりに紺の着物を着た早乙女と白装束に身を包んだ田男かすりの姿となって、育った苗を斉田に植える御田植の儀を行います。

お問い合わせ先：農業振興課 農政係 ☎ 52-5854 (直通)